学校番号	３０２０B

令和２年度　　家庭科

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	2	年次	3
使用教科書	「子ども文化」　（文部科学省）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもと遊び、子どもの表現活動などに関する知識と技術を習得し、子ども文化の充実に貢献すること、子どもと遊びを通して触れ合うなどの活動ができるよう頑張りましょう。

２　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得し、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	子どもに豊かで健康的な文化的環境を与えることに関心を持ち、積極的に子どもとかかわることができる実践的な態度を身につける。	子ども文化について課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子ども文化に関する技術を習得し、児童文化財の製作などができ、積極的に子どもとかかわる能力を身につける。	児童文化財の重要性について理解し、子ども文化に関する知識を習得する。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等	・実習レポート ・実習製作物 ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	子ども文化とは	子ども文化とは 子ども文化を歴史から見る	○			○	a.子ども文化について関心を持っており、意欲的に理解しようとしている。 d.子どもが主体となって創作する遊びや歌、言葉などを総合した子ども文化の重要性について理解している。	・授業プリント ・ワークシート ・観察等
	子どもと遊び	遊びと発達 遊びの現状 遊びと遊具・玩具	○	○	○	○	a.子どもの遊びについて関心をもち、意欲的に理解しようとしている。 b.様々な遊びを比較するなどして、遊びの楽しみの共有化、工夫する体験の大切さについて考えられている。また、遊具の選び方や与え方などを具体的に考えることができる。 c.望ましい条件を満たすような遊具を考案し、製作することができる。 d.遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわりについて理解している。	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート
	子ども文化実習	子どもとの交流活動	○	○	○	○		・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・製作物
後期	子どもの表現活動と児童文化財	造形表現活動 言語表現活動 音楽・身体表現活動 ICT を活用した活動 絵本 児童文学	○	○	○	○	a. 子どもの表現活動と児童文化財に関心をもち、積極的に習得しようとしている。 b.ICT を活用した活動の意義を理解し、長所と短所について考え、適切な活用方法を提案できる。 c.様々な表現活動に必要な技能を習得している。 d.子どもの表現活動の意義を理解し、それを支える児童文化財の重要性について理解している。	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・製作物
	子ども文化を支える場	行政による公的な支え方 民間企業による支え方 子どものための各種施設	○	○		○	a.子ども文化を支える場に関心をもち、意欲的に理解しようとしている。 b.子ども文化を支える施設について、比較しながらそれぞれの意義や有効な活用方法について考える。 d.子ども文化を支える場の種類や目的を理解している。	・授業プリント ・ワークシート ・観察 ・実習レポート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。